

豊小レポート35号 川

6年生の教室、後ろの黒板に貼ってありました。
ある子が、川について、まとめたようです。
宿題ではなさそうです。自分で関心を持って進めたのです。

六のー

川について

1 川は長さだけでなく、川についていろいろ区別されているけど、どんな意味をもっているのだろう。

<長さ> 水源地から河口までの長さ
<流域面積>
ある河川に対して降水が集まり、流れ込むはんいを流域といい、流域の面積がどれくらいあるかを求めたのが流域面積。

<水系>
川は山から小さな流れが合流していきやがて大きな流れとなります。この川の集まりを水系といいます。

いろいろだよ

← 信濃川 (新潟県)
長さ・367km
流域面積・11900km²

最上川 長・229km 流・7090km ²	筑後川 長・143km 流・2860km ²
---	---

利根川
長・322km
流・16890km²

2 一級河川と二級河川


<一級河川>
私たちの暮らしを守り、産業を発展させるうえで重要な関わりをもっている水系(一級水系)のなかの河川のうち66%が管理している河川。
※(一級水系)
国民経済上物に重要な水系。
全国には109の一級水系がある。

<二級河川>
一級水系以外の比較的流域面積が小さい水系の河川のうち都道府県が管理している河川。


補足コ-ナ-

一級河川と二級河川と川が大きい小さいはあまり関係がない。

入間には、
入間川、不老川、霞川、大沢川の4つが一級河川です。



← 入間川



← 不老川

わかったこと!
川の大きさは川の長さや短さで決まるのではなく、川が多く集まり大きな水系で流域面積が大きければ大きいほど川が大きいと見られる。
信濃川の方が長さは長いけれど、流域面積は利根川の方が流域面積が大きい。つまり利根川の方が川が大きいとも言える。

家庭学習の見本ですね。自ら進んで学ぶ、豊小っ子のよい姿です。